

令和7年度国民スポーツ大会・西日本各県対抗剣道大会選手候補選考会 実施要項

1. 日 時 令和7年4月20日(日)
受付時間 午前8時30分～午前9時
開 会 式 午前10時

2. 会 場 福岡市総合体育館 サブアリーナ
(福岡市東区香椎照葉6-1-1 TEL 092-410-0314)

3. 参加資格(年齢基準)
 - (1) 成年男子
先鋒 平成12年4月2日以降～平成19年4月1日までに生まれた者。
(18歳以上～25歳未満)
次鋒 平成2年4月2日以降～平成12年4月1日までに生まれた者。
(25歳以上～35歳未満)
中堅 昭和55年4月2日以降～平成2年4月1日までに生まれた者。
(35歳以上～45歳未満)
副将 昭和45年4月2日以降～昭和55年4月1日までに生まれた者。
(45歳以上～55歳未満)
 - (2) 成年女子
先鋒 平成7年4月2日以降～平成19年4月1日までに生まれた者。
(18歳以上～30歳未満)
中堅 昭和60年4月2日以降～平成7年4月1日までに生まれた者。
(30歳以上～40歳未満)
大将 昭和60年4月1日以前に生まれた者。
(40歳以上)
※本連盟の登録会員であること。段位の制限はしない。

4. 試合方法及び試合時間
試合は、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則並びに同細則及び選手候補選考会実施要項による。
 - (1) 成年男子・女子は全てトーナメント方式とする。また、成年女子の中堅・大将は参加人数が少ない場合はリーグ戦方式とする。
 - (2) 試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行ない、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り、勝敗が決するまで継続する。
また、参加人数により3位が2名以上の場合は、決定戦を行う。決定戦も時間を区切らずに行う。

5. 剣道用具の取り扱いについて

(1) 竹刀については次の事項を遵守すること。また大会当日に、計量・検査を必ず受けること。選手は、大会で使用する剣道用具について「剣道用具確認証」を提出すること。

●竹刀の長さ(全長・先革長)、重さ、太さ(先革先端対辺直径値および先端より8cmのちくとう部対角直径値)は、表1、表2および図のとおりとする。

●ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。

(2) 小手については次の事項を遵守すること。

●小手は、こぶしと前腕(肘から手首の最長部)の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。

●小手ぶとん部のえぐり(クリ)の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。

(3) 面については次の事項を遵守すること。

●面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。

(4) 小手については次の事項を遵守すること。

●剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。
(構えたときに肘関節が隠れること)

表1 竹刀の長さ、重さ、太さ(男子：上段、女子：下段)

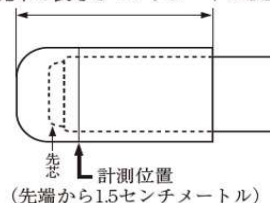
長さ (全長)	重さ	太さ	
		先端部最小直径	ちくとう最小直径
120センチメートル以下	510グラム以上	26ミリメートル以上	21ミリメートル以上
120センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上

表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ(男子：上段、女子：下段)

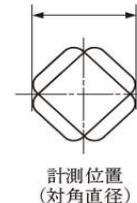
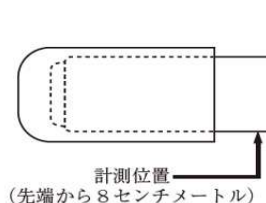
	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
大刀	114センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上
	114センチメートル以下	400グラム以上	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上
小刀	62センチメートル以下	280~300グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上
	62センチメートル以下	250~280グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



6. 参加料 1人 2,000円 ※当日欠席者の参加料は返金致しません。

7. 申込期限 所属の地域剣道連盟が定めた期日

8. 申込先 所属の地域剣道連盟

9. 強化選手の指定

(1) 男子の部

先鋒～副将は第1～第4試合場のA～Cの1位3名

(2) 女子の部

先鋒は第5試合場のA～Cの1位3名、中堅・大将は第6試合場の1～3位の各3名

上記選手を強化選手に指定し、9月29日から10月1日まで滋賀県湖南市総合体育館で開催の国民スポーツ大会へ出場する選手を決定する。また、男子については6月15日(日)に佐賀県SAGAプラザで開催する西日本各県対抗剣道大会(九州剣道連盟主催)へ出場する選手も決定する。

10. 安全対策

出場選手は、各自十分健康管理に留意し本大会に参加すること。また出場選手は健康保険証を持参のこと。高齢の出場選手については、特に留意のこと。

主催者において、大会実施中、傷害発生の場合は、看護師により応急措置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。この場合の治療費は自己負担とする。なお、主催者は、大会中の選手の事故に対し、傷害保険に加入する。

対人稽古に関する感染予防ガイドラインにかかわらず、面マスクの着用は個人の判断に委ねる。ただし、面マスクを着用しない場合は、口の部分を覆うシールドを着用すること。

11. 個人情報保護法への対応

参加者の個人情報(漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等)は福岡県剣道連盟および地域剣道連盟が行事運営のために利用する。なお、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせた公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣脈等)に公表することがある。更に、普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

☆ 特記事項

- (1) 大会当日、竹刀の計量、測定を実施いたします。
- (2) 紅白の目印(長さ70cm 幅5cm)を持参すること。
- (3) 面紐の長さは結び目より40cm以内とする。
- (4) 会場への往復時は、交通事故に十分注意してください。
- (5) 昼食等の飲食は観覧席で行ってください。

※弁当ガラ等のごみは各自で持ち帰ってください。